

## ✠060 イエス・キリスト&キリスト・イエス

聖書では、**イエス・キリスト**と**キリスト・イエス**の両方がある聖句は、下記の2つしかない。両者の違いはあるのだろうか。

Copyright ©2013-2015 H.Taniguchi All Rights Reserved. [谷口 一心 504201427-81152632] (新共同訳) [検索語彙: イエス・キリスト・キリスト・イエス]	
タイトル(書名)	章・節:聖句 [検索対象総数: 2ヶ所 / 聖書聖句等の総数 33250]
S コリント信徒への手紙 I	1:2 コリントにある神の教会へ、すなわち、至るところでわたしたちの主 <b>イエス・キリスト</b> の名を呼び求めているすべての人と共に、 <b>キリスト・イエス</b> によって聖なる者とされた人々、召されて聖なる者とされた人々へ。イエス・キリストは、この人たちとわたしたちの主であります。
S ガラテヤの信徒への手紙	2:16 けれども、人は律法の実行ではなく、ただ <b>イエス・キリスト</b> への信仰によって義とされると知って、わたしたちも <b>キリスト・イエス</b> を信じました。これは、律法の実行ではなく、キリストへの信仰によって義としていただくためでした。なぜなら、律法の実行によっては、だれ一人として義とされないからです。

聖書には、「イエス・キリスト」(Jesus Christ)が142回、「キリスト・イエス」が93回出てくる。

一般には、「イエス・キリスト」は、「油注がれた者、メシアであるイエス」

「キリスト・イエス」は、「キリストであるイエス」とされる場合があるが、正確に区別して使用されているとは疑問で、その違いは厳密には説明できないものと思われる(私見)。

### 【資料】

- ・キリストは、ヘブライ語では「メシア」**מָשִׁיחַ**。「油注がれた(選ばれた)者」の意。メサイアは、Messiahの英語発音。漢字では、「基督」とも表記される。
- ・アラム語の「ヨシュア」のギリシア語形が「イエス」。
- ・油を注がれる者として、は「王」、「祭司」、「預言者」がいる。
- ・イエス・キリストのギリシア語表記は、Ἰησοῦς Χριστός (イエス・クリストス)で、「油を注がれた者、王、救世、主たるイエス」の意。
- ・ギリシア語の「クリストス」は、新共同訳聖書では、次のように取り扱われている。  
ギリシア語底本(もととなすべき本)では、  
「固有名詞(人名)」の場合は、頭文字が大文字表記、  
「一般名詞(称号)」の場合は、頭文字が小文字表記にして、区別している。  
以上より、「固有名詞(人名)」の場合の表記は「キリスト」、「一般名詞(称号)」の場合の表記は「メシア」として翻訳(新共同訳)をしている。